

学校だより

10月
中学校区一貫教育校園
玉野市立玉中学校

※生徒の活動の様子、感想を掲載していますが、紙面の都合ですべてを載せられませんでした。ご了承ください。

朗読劇を鑑賞しました。

10月6日(木)東京の青二プロダクションの声優4名(この他に司会者1名、音響スタッフ1名)をお招きし、朗読による劇を見せていただきました。はじめに司会の高見さんから「今、この空間で一緒に時間を過ごす事の大切さを感じ、将来、思い出して欲しい」とお話をいただき、『杜子春』最後の一葉『走れメロス』の朗読劇を鑑賞しました。以下は生徒の感想の一部です。



- 最初の一言目から「すごい！」と感じた。ずっと世界観に入り込めてとても感動した。
- 迫力のある声、一人なのに何人もの声、改めて声優さんってとてもすごい人だなと思いました。生で聴けて迫力がすごかったため、すごく魅了されました。
- 聞いたことがある話や知っている話があって楽しかった。とても感情がこもっていて話が分かりやすく聞きやすかった。
- 三作品とも役に入り込んでいたことにすごく尊敬しました。
- チャレンジワークで学べなかった声優という職業を学べてよかった。
- みなさんの演技力がすごくて話にすごく引き込まれました。迫力もすごくて、ことばの一つ一つに力がこもっていてすごいなと思いました。
- 迫力がとてもすごかったです。とても夢見心地でした。
- これからは普通にテレビを見るのではなく、キャラクターたちの声を聞いて、声優さんたちのすごいところをたくさん見つけようと思いました。
- どの物語も面白く、悲しい話でした。やっぱり声優さんの声で朗読を聞くと物語に出てくる登場人物たちに心がこもっていました。
- 1つ1つのことばに思いがとても込められていてすごいなと思いました。
- 今日の朗読を聞き、声だけで感情や情景を伝える声優さんのお仕事は身近にあふれているなと思いました。迫力あるシーンやその他のシーンを使い分けることができる力はアニメやナレーションなどで生かされているなと思いました。
- 声だけでなく、表情も物語の進展によって変化していて声優さんは声のスキルだけではなく、表情や感情の雰囲気までもをコントロールしなければいけない、とてもたいへんなお仕事だと思いました。
- いつもはテレビなどで声を聞くだけでしたが、間近で聞くと迫力が違って、声優の仕事ってすごいんだなと思った。
- 走れメロスは登場人物によって少しずつ声が変わり、迫真の声で臨場感があり、とても心に残っています。とてもいい経験でした。本当にありがとうございました。

クリーン作戦を行いました。

10月22日(土)に校内クリーン作戦を実施しました。翌週に開催される合唱発表会に向け、会場となる体育館を掃除しました。学校支援ボランティアの方もお越しくださり、駐車場となるグラウンドの整備をしていただきました。1時間という短い時間でしたが、合唱をがんばろうという思いと



来ていただく方、日頃から支えてくださっている地域の方への感謝の思いを込めて活動しました。ありがとうございました。

合唱発表会を行いました。

10月29日(土)に合唱発表会を開催しました。コロナ対策として入場者数を制限し、家庭で2名までの観覧を可としました。保護者のみなさんのご協力に感謝いたします。先輩たちから受け継いだ合唱への思いや、最後の『いのちの歌』への思いを、3年生が披露してくれました。この思いを来年の合唱に込められるよう、伝統を受け継いで行きましょう。3年生をはじめ生徒のみんなのがんばりに感謝します。

